

令和6年11月27日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

西会津町長 薄 友喜

市町村名 (市町村コード)	西会津町 (07405)
地域名 (地域内農業集落名)	野沢1地区 (本町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 4月25日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は、認定農業者等を中心とした担い手が他の地区と比べて比較的多い地区である。しかし、担い手が耕作する水田が団地化されておらず、あちこちに点在していることで作業の効率化が図られていないことが課題とされている。

また、土地改良事業の実施から40年近くが経過し、土壌の堆積によって用水路より耕地が高くなってしまっている事で取水に問題がある箇所も見受けられる。

日照については問題はないが、山際の圃場など一部の水田では有害鳥獣(イノシシなど)の出没により、水路や農地が使用できないほど掘り起こされる被害が年々増加傾向にある。さらに肥料の高騰や農業資材の高騰の影響を受けている。

【地域の基礎的データ】

地域の担い手:5名うち株式会社1社

主な作物:水稲など

(2) 地域における農業の将来の在り方

・後継者がいない農地に関しては、農地中間管理機構へ貸付け、地域の担い手への集積、集約化を行い作業の効率化を図る。

・有害鳥獣防止対策では、集落点検マップ(電気柵や檻の設置状況、未利用果樹木の伐採や利活用、目撃状況や被害発生場所を地図にしたもの)の作成を進め、連絡網の整備や地域ぐるみでの具体的な被害防止対策を検討・実施する。(広域でのワイヤーメッシュ柵対策の実施については生活道路として利用している箇所など関係機関や関係自治体等との協議が必要である。)

・基盤整備事業の実施も考えながら農地の集約・集積を進めるとともに、担い手が加入する「本町営農組合」といったような任意団体の設立や運営を目指し積極的に取り組んでいく。

・遊休農地の活用についてはソバの作付けを行うなど農地の利用促進を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	40.9 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	40.9 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心とした担い手へ農地の集積を進めるとともに団地化面積の拡大を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
地権者の意向や担い手の経営意向を勘案しながら積極的な農地中間管理機構の活用を図る。
(3)基盤整備事業への取組方針
将来的には、基盤整備事業に関しても、農用地の大区画化・汎用化等のため実施していきたい。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域内にある多様な経営体を募り、経営体それぞれの意向を踏まえ、県や町などの関係機関と連携しながら、自治区としても必要な支援を行っていく。 また将来的には、ライスセンター設備を建設し、作業の省力化及び効率化を図っていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
作業効率化が期待できる防除作業については、サービス事業者への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①有害鳥獣防止対策では、集落点検マップ(電気柵や檻の設置状況、未利用果樹木の伐採や利活用、目撃状況や被害発生場所を地図にしたもの)の作成を進める。また、連絡網の整備や地域ぐるみでの具体的な被害防止対策を検討し進める。

②有機栽培や減農薬・減化学肥料の推進に努める。

⑦農地保全としては、そばを作付けするなどし農地の有効活用と遊休農地の解消を図る。

⑧将来はライスセンターを建設し、作業の効率化を図る。

⑩できるだけ安い肥料を使用する。

⑩地主が他地区の耕作者に貸している入り作の是正解消に努める。
(地域計画の周知徹底及び確実な実行に努める。)